

障がいの理解を深める啓発授業を行いました
理事長 長谷川 美智代



昨年12月12日に友渕中学校1年生、今年の1月19日には桜宮中学校1年生、そして23日は友渕中学校3年生を対象に啓発活動を行いました。ここ2年ほどは、出前授業の依頼がなく、今回、久しぶりの学校訪問となりますので、初回の友渕中学校の授業は少し緊張もしましたが、「けろけろ王国」の疑似体験で生徒さんからの笑いが起こると一気に場が和み、いつも通りにプログラムを進めることができました。「けろけろ王国」「絵に描いてみよう」の疑似体験、感覚過敏の人の「ものの見え方や聞こえ方」の違いについての説明や体験、そして最後は「ひびわれ壺」のお話を聞いてもらいました。23日の友渕中学校の授業には、自立生活センター・あるる(2名)、大阪市こころの健康センター(職員1名・ピアサポーター4名)、都島区社会福祉協議会(3名)からたくさんの方が見学にも来られました。こころの健康センターの職員さんからは、「知的・発達障がいについて、とても分かりやすく学ぶことができ、よく考えられたプログラムだと思いました。進行のテンポも良かったので、とても聞きやすかったです。」との感想をいただきました。今、こころの健康センターでは、精神障がいのある人への理解を深めるための啓発活動の方法を検討されているようで、私たちの「障がい理解講座」を見て参考にできればと思い見学に来られたとのことでした。「いろいろ勉強になりました。私たちも精神障がいの理解を深めるために啓発の資料作りを頑張ります。」と仰って下さったので、少しでもお役に立てて嬉しく思いました。

終了後は、両校の授業を受けた生徒の皆さん、全員の感想文を育成会に送ってきて下さいましたので、一部ではありますがご紹介したいと思います。

○体験がとても印象に残りました。けろけろ王国の(体験者の)先生を見て、意思がお互いに伝わらないことは、孤独感を生むのだなと改めて実感しました。

○絵を描く体験で、「ちょっと」や「ちゃんと」など絵に表しにくい言葉が、理解しにくい言葉だということを実感しました。このような体験を社会に出る前も出た後もするべきだと思います。口で説明されるより実体験することが共生への第一歩だと思いました。

○「ひびわれ壺」のお話が印象に残りました。ひび割れを良いことに活かして、誇りをもって生きていくということに感動しました。ひび割れは、悪いことではなく、誰かの役にも立つことができる、そう思っていきたいと思いました。

○この体験やお話を聞く中で、自分にとって当たり前が当たり前ではない人がいることに気づくことができました。この機会がなければ、上手くコミュニケーションをとることができない障がいのある人と話す時、少しイライラしたかもしれないなと思った。障がいへの理解も深まったし、これから出会うどんな人ともお互いを尊重し、上手くやっていきたいと思った。

○障がい者の保護者の人たちが、活動をしているのを聞いて、それぞれ障がい者の人たちの悩みや苦勞を一生懸命説明してくれたことが一番印象に残った。

大阪市育成会会員だより

《3月度 支部連絡会&会員懇親会について》

※3月度支部連絡会は会員懇親会を兼ねて開催します。

- ・日 時：3月19日(木) 12:00~14:00
 - ・場 所：木曽路 上本町店 個室/全テーブル席
 - ・定 員：50名 個人会員可(※先着順)
- (※参加される場合は事務局へ事前の申し込みが必要です)

活動報告(1月16日から2月15日まで)

活動日	内 容
1/19	障がい理解啓発出前授業(桜宮中学校)
	近畿リーグ-養成研修会登壇者打合せ(WEB)
1/21	大阪市障がい者・高齢者虐待防止連絡会(大阪市役所)
1/23	障がい理解啓発出前授業(友渕中学校)
1/28	大阪市交通バリアフリー推進協議会(大阪市役所)
2/2	近畿ブロック役員会(WEB)
2/5	近畿リーダー養成研修会(ハートピア京都)
2/6	スポーツフェスタ理事会(社会福祉センター)